

科目目標: 高齢者とその取り巻く状況を学び、高齢者看護の基本を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 加齢に伴う変化を理解できる。	6 (3回)	1) ライフサイクルからの老年期の理解 (1) 老年期の定義 (2) 「加齢」と「老化」 2) 加齢に伴う変化 (1) 身体的機能の変化(形態の変化含む) (2) 認知機能の変化 (3) 心理・社会的変化 ①パーソナリティ ②生きがい ③収入・生計 ④就労・雇用 ⑤生活時間変化 ⑥社会活動・余暇活動	<演習> (2H) 高齢者疑似体験 <演習> (2H) 高齢者とのコミュニケーション
2 高齢者の特徴と高齢社会の現状を理解できる。	8 (4回)	1) 高齢者の理解 (1) 高齢者人口の推移と特徴 (2) 高齢者の健康のとらえかた ①平均寿命・健康寿命 ②フレイル ③疾病構造の変化 (3) 高齢者の暮らし ①生活習慣 ②生活リズム ③多様な生活の場とリロケーション	
3 高齢者の健康のとらえ方を理解できる。	2 (1回)	1) 高齢者の健康のとらえ方と健康状態 2) 健康と病気に影響する要因 3) サクセスフル・エイジング	
4 高齢者保健医療福祉施策、高齢社会における課題とその対策、家族への関わりを理解できる。	6 (3回)	1) 高齢者を取り巻く社会 (1) 保健医療福祉制度の変遷 (2) 高齢者医療 (3) 介護保険制度 2) 高齢社会における権利擁護 (1) 高齢者差別(エイジズム)と権利擁護(アドボカシー) (2) 高齢者虐待 (3) 身体拘束 (4) 権利擁護のための制度 ①成年後見制度 ・ノーマライゼーション ・自己決定 ②日常生活自立支援事業	
5 高齢者看護の基本的な考え方と老年看護活動の特性を理解できる。	6 (3回)	1) 高齢者看護の基本 2) 理論・概念の活用 (1) エンパワメント (2) ストレングスモデル (3) ライフレビュー (4) コンフォート理論 3) 健康状態に応じた高齢者の看護 (1) 急性期 (2) 慢性期 (3) 回復期 (4) 終末期 (5) 外来受診 (6) 退院支援 4) 高齢者看護活動の特性 (1) 寛ぎ・安心・安全な生活への援助 (2) 健康の保持増進と予防活動の重視 (3) 疾病の回復への看護 (4) 日常生活能力・目標に合わせた援助 (5) 人生の統合をはかる支援 (6) 家族との協働と家族への支援 (7) チームアプローチ(多職種連携)	
	試験2H		

科目目標: 高齢者の特徴を理解し、生活機能のアセスメントと生活を支える援助について理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 高齢者を包括的にアセスメントする視点を理解できる。	2 (1回)	1) 高齢者の生活アセスメント (1) 国際生活機能分類(ICF) (2) 総合機能評価(CGA) (3) 基本的日常生活動作(BADL) (4) 手段的日常生活動作(IADL) (5) 心理・情緒機能 (6) 生活環境	
2 高齢者とのコミュニケーションの特徴とかかわり方を理解できる。	2 (1回)	1) 高齢者とのコミュニケーション (1) 加齢とコミュニケーション能力 ①視力の低下 ②聴力の低下 ③記銘・理解力の低下 (2)コミュニケーションにおける基本姿勢 ①コミュニケーション時の留意点	
3 高齢者の食生活を支える援助を理解できる。	2 (1回)	1) 食生活を支える援助技術 (1) 食生活と栄養のアセスメント ①摂食動作 ②口腔機能 ③摂食・嚥下機能 (2) 食生活と栄養の援助	
4 高齢者の清潔行動を高める援助を理解できる。	4 (2回)	1) 皮膚・粘膜の機能を高める援助技術 (1) 清潔のアセスメント ①加齢による皮膚・粘膜・歯牙の変化 (2) 清潔の援助 ①入浴・清拭 ②陰部洗浄 ③更衣 ④口腔ケア(義歯の着脱、洗浄含) ⑤身だしなみ	<校内実習> (4H) 「高齢者の援助」 (おむつ交換・陰部洗浄)
5 高齢者の排泄行動を支える援助を理解できる。	8 (4回)	1) 排泄行動を支える援助技術 (1) 排泄のアセスメント (2)排泄能力の変化に応じた援助 ①排泄誘導 ②おむつ交換の援助 ③ポータブル便器での排泄援助	
6 高齢者の歩行・移動を支える援助を理解できる。	8 (4回)	1) 歩行・移動を支える援助技術 (1) 歩行・移動動作に関するアセスメント (2) 活動の維持・拡大に向けての援助 ①歩行・移動動作の援助 ②高齢者の転倒の特徴と背景 ③転倒予防	<校内実習> (4H) 「高齢者の援助」 (移動・身だしなみ)
7 高齢者の活動と休息を支える援助を理解できる。	2 (1回)	1) 活動と休息の援助技術 (1)活動と休息のアセスメント ①加齢に伴う睡眠と覚醒の変化 ②高齢者にみられる睡眠の障害 (2)生活リズムを整える援助	
	試験2H		

科目名:高齢者の健康障害時の看護

単位時間:1単位(30時間) 2学年

科目目標:1 高齢者に多い疾患の理解と健康障害に応じた看護について理解できる。
2 人生の終焉を迎える高齢者の支援と看護について理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 高齢者に多い疾患の基礎的知識を理解できる。	4 (2回)	1) 老化現象と健康障害 2) 老年症候群とは 3) 高齢者に多い疾患の特徴 (1) 廃用症候群 (2) 認知症 (3) パーキンソン症候群 (4) 骨粗鬆症 (5) 白内障 (6) 前立腺肥大症 (7) 感染症	
2 健康障害のある高齢者への看護を理解できる。	16 (8回)	1) 高齢者に特有な症候・疾患・障害の看護 (1) 脱水症 (2) 摂食・嚥下障害 (3) 皮膚の障害 (4) 視覚・聴覚障害 (5) 骨折(6) せん妄 (7) うつ病 (8) 認知症 2) 寝たきり高齢者の予防と自立支援 (1) 要因 (2) 廃用症候群と褥創の予防 (3) リハビリテーション	<校内実習> 「経鼻経管栄養法(カテーテル挿入・栄養剤の注入)」 (4H)
3 治療・処置を受ける高齢者の看護を理解できる。	4 (2回)	1) 薬物療法を受ける高齢者の看護 (1) 高齢者と薬物動態、薬物療法の特徴 (2) 薬物療法時の看護 (3) 薬物管理とリスクマネジメント 2) 手術を受ける高齢者の看護 (1) 生理機能の変化と手術療法のリスク (2) 術前の看護 (3) 高齢者に起こりやすい術後合併症と看護	
4 退院後の生活を見据えた高齢者の看護を理解できる。	2 (1回)	1) 退院支援 2) 退院調整 3) 退院指導	
5 終末期にある高齢者の看護を理解できる。	2 (1回)	1) エンド・オブ・ライフ・ケア (1) 高齢者の死の迎え方、死を迎える場所 2) 高齢者の死に関わる権利 (1) 尊厳死と安楽死、自己決定権、リビング・ウィル 3) 高齢者の死を看取る場所 (老いを看取る多様な場所) 4) 苦痛の緩和 5) 家族への援助(グリーフケア)	
	試験2H		

科目名:高齢者の看護過程

単位時間:1単位(15時間) 2学年

科目目標: 看護過程を通し、高齢者の特徴と多様な場で生活する高齢者への看護を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
<p>1 高齢者の個別性と健康障害を踏まえてアセスメントができる。</p> <p>2 高齢者の望む生活を尊重した看護過程の展開ができる。</p> <p>3 退院後、多様な場で生活する高齢者を理解できる。</p>	<p>14 (7回)</p> <p>試験1H</p>	<p>1) 高齢者の看護過程の特徴 (1) 加齢変化 (2) 入院前の日常生活状況、生活習慣 (3) 身体機能・予備力(運動・生理機能) (4) 知覚・認知・コミュニケーション能力 (5) 心理状況 (6) 家族・介護力 (7) 価値観・健康の認識</p> <p>1) 問題点の明確化 (1) 加齢による変化および疾患の日常生活活動への影響 (2) 認知・理解の程度 (3) 家族の介護状況 (4) 二次障害・合併症の危険性</p> <p>2) 看護介入 (1) 日常生活の自立能力と意欲を高める計画 (2) 活動耐性を考慮した計画 (3) 二次障害の予防 (4) 強みを活かした計画</p> <p>3) 評価</p> <p>1) 多様な生活の場 (1) 自宅 (2) その他</p> <p>2) 暮らしとサービス</p> <p>3) 退院支援</p>	<p><演習> (14H)</p>